

市制施行 80 年の重みを感じて

みなとまち 塩竈のあゆみ

<昭和>

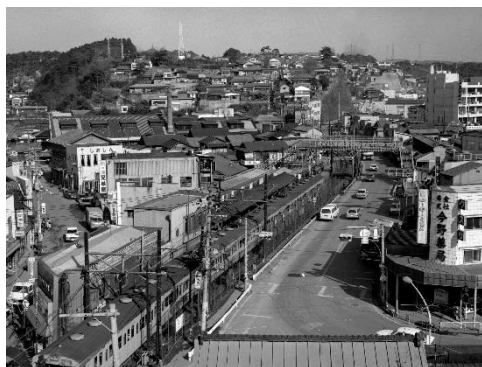
- 4 塩竈魚市場が開かれる
- 8 塩竈駅-塩竈港駅の貨物線開業
塩竈の築港が完成
- 16 塩竈市制をしく(11月23日)
人口 31,286 人
- 18 塩竈中学校(現:塩釜高校)設立
- 19 塩竈市営汽船が事業開始
塩竈市空襲 12月29日
- 22 塩竈市立中学校開校(現:一中)
- 23 第1回みなとまつり開催
- 24 牛生が塩竈市に合併
- 25 浦戸村が塩竈市に合併
- 30 人口 50,960 人
- 31 東北本線塩竈駅営業開始
- 35 市役所新庁舎落成
チリ地震津波襲来
- 37 大倉ダムから受水開始
- 40 魚市場新築移転(新浜町)
- 49 市の花:白菊/市の木:塩竈桜制定
- 53 人口 6 万人を越す
宮城県沖地震
- 56 西塩釜~東塩釜間
高架複線化工事
- 61 塩竈市体育館開館

<平成>

- 元 よしこの塩竈がみなと祭の
陸上パレードに登場
- 2 市制 50 周年記念式典
- 3 市立病院開院 50 周年
人口 63,566 人
- 8 塩釜勤労者総合スポーツ施設
(現:塩竈市温水プール)開館
- 9 みなと祭 50 周年
- 13 国体バドミントン競技開催
- 16 しおナビ 100 円バス運行開始
- 19 「三陸塩竈ひがしもの」
商標登録認定
- 21 藤倉雨水ポンプ場完成
塩竈市魚市場 80 周年
- 22 NEW しおナビ 100 円バス
運行開始
- 23 東日本大震災発生
- 26 塩竈市杉村美術館オープン
- 27 みなと塩竈・ゆめ博開催
- 28 津波避難デッキ開通
- 29 「しお彩テラス」完成
塩竈市新魚市場完成
- 30 市営汽船新造船「しおね」就航

<令和>

- 2 新型コロナウイルス感染症蔓延
- 3 東京オリ・パラ開催
聖火が市内を走る
塩竈市市制 80 周年



塩竈町は大正から昭和初期にかけて、海では釧路や函館との定期航路が開設し、魚市場も完成。陸では仙台-西塩釜を鉄道が走り、本塩釜、石巻まで延伸。また、仙塩舗装道路が完成するなど、現在の塩竈市の基礎ができました。また、築港が完成すると、船が入るようになり魚の水揚げが増え、加工業者も増加。大正九年(約一万三千人)から昭和十六年(約三万人)の間に爆発的に人口が増えた



のも、この時代でした。大躍進を重ねた塩竈町は、昭和十六年十一月二十三日に市制施行し「塩竈市」となったのです。この時、記念事業として「塩竈市民歌」を製作。作曲はオリンピック・マーチで有名な古関裕而氏であることは記憶でしょうか。

塩竈市が誕生してすぐに太平洋戦争が勃発し、空襲も受けるなど苦難の時代もありました。戦後は、それまでの暗いムードを払拭。海では北洋海域での大型底引き網漁船の操業が盛んになり、町には屋台が並び(現在の港町付近)、娯楽としては七軒もの映画館がありました。しかし、昭和五十年代に入ると二〇〇

〇カイル問題の影響もあり北洋での操業が減少傾向に。現在、クロマグロ・メバチマグロの水揚げ量、トップクラスを誇る塩竈も紆余曲折があつたのです。

平成元年には、まちおこしとして、塩竈の伝統民謡である塩釜甚句を

塩竈の夏の風物詩、日本三大船祭りの一つ「みなと祭」は昭和二十三年に始まりました。鹽竈・志波彦神社の神輿が市内を練り歩いた後、鳳凰丸・龍鳳丸に乗り、海上を巡幸するのです。平成元年には、まちおこしとして、塩竈の伝統民謡である塩釜甚句を

受け継いだものを発展させ、未来の人々が誇れる「塩竈市」にしていきたいものです。

陸と海の基礎が充実 人口増加へ

一九四六年十一月二十三日に塩竈町が塩竈市になってから、今年で八十周年を迎えました。ここでは塩竈市の八十年のあゆみを紐解き、いかにして塩竈市が発展してきたかを知って欲しいと思います。

体協スポーツニュース スポーツ広報委員会

2021年 12月号 Vol. 56

日本一に至るまで



写真提供
：利府町・佐々木昇悦氏

災害の記憶 ~チリ地震津波~

昭和35年(1960年)5月22日15時11分14秒、チリ中部の都市バルディビア近海で起きたM9.5の地震で発生した津波は、22時間後の24日早朝6時、本市に到達しました。後にチリ地震津波と呼ばれるその津波の波の高さは約2.8m。北浜、海岸通り一帯には漁船や観光船が多数打ちあげられました。

しかし杳然とする塩竈市民ではありません。

その日のうちに対策本部が立ちあがり避難所も市内5か所に開設。また、浸水によりヘドロにまみれた場所では、疫病の発生が予想され、必要と思われる全ての消毒が行われたそうです。思いもよらない自然災害の中でも、明るく懸命に生きようとする姿がそこにはありました。



写真提供：利府町・佐々木昇悦氏

スポーツの振興に心血を注ぐ

特定非営利活動法人
塩釜市体育協会創立 75 周年
塩釜ガス体育館 開館 35 周年
塩竈市温水プール開館 25 周年

パイオニアとして地域を盛り立てる

戦後の混乱が続き、人々がその日を生きていくのに必死だった昭和二十一年、敗戦の鬱憤を晴らすのは「教育による子ども達の健全なる育成」であると考えました。その為にはスポーツの振興しかないと、宮城県陸上競技協会と宮城県体育協会の創設者の一人であった佐藤賢助氏が、十余人のスポーツ愛好者に呼びかけ塩釜市体育協会を設立しました。設立当初は部制をしき「陸上競技部」「相撲部」「水泳部」「庭球部」「野球部」「剣道部」「柔道部」「弓道部」「漕艇部」等の部長が理事となり、塩竈のスポーツのパイオニアとして、育成と強化に力を入れました。

昭和二十一年には市民の士気高揚のために企画された「塩竈市民大会」が、後のに当協会の会長になられる鈴木久直氏がトラック競技の決勝審判員を勤

体協の快進撃は続く

スポーツ熱が高まりを見せる中、昭和二十七年に開催された第七回国民体育大会宮城県国体では、聖火旗奉送記念があり、まっさらなウエアに身を包み、頭に鉢巻きをしたランナーが、沿道の声援を受け塩竈市内を走りました。昭和三十一年の東京オリンピックで

今後の在り方を模索

められたり、また、翌年に行われた第二十四回国民体育大会岐阜県国体では、当協会が文部大臣より表彰を受けるなど、慶事が続いたとの事です。

子ども達の健全な育成のために始めたスポーツ振興も、平成に入ると幅広い年齢層の健康志向へとニーズが変化していきました。加盟団体も少林寺拳法やグラウンドゴルフ、太極拳など続々増え、当協会の模索が始まったのです。

そんな中、平成十三年には、NPO法人格を取得。ここに「NPO法人 塩釜市体育協会」が誕生しました。翌年には塩竈市から「塩竈市体育館」と「塩竈市温水プール」の指定管理者として委託を受け、様々なことに挑戦するチャンスが巡ってきました。

平成十六年には、体育協会主催の「浦戸inウォーク」が開催され、市内外から参加された老若男女一六九名が五月の島に集い、途中でふるまわれた、あさり汁に舌鼓を打ち野々島、桂島といった浦戸諸島の約十二ヶ所を巡りました。

子どもの運動能力低下を阻止する

塩竈市アフタースクール事業 <わくわく遊び隊>

近年、子どもの運動能力低下が叫ばれるようになりました。特に「投げる・走る・跳ぶ」という基本的な動作の低下です。その背景には「空き地や公園の減少」「家庭用ゲーム機の普及」「習い事」など、たくさんの要因がありますが、これは何とかしないと、立ちあげたのが「わくわく遊び隊」でした。

平成28年度より開催し、現在では塩竈市内の小学校6校（浦戸小中学校を除く）の小学1～3年生を対象に、放課後を利用して、運動要素を取り入れたレクリエーション、地域文化、地場産業などの体験型学習活動を行っています。開催場所が放課後の学校ということもあり、安心して活動に参加させられると感じている保護者も多く、「わくわくがある日は、帰ってきてからの話が弾む」「体が丈夫になった」という声も寄せられました。波に乗ってきたと感じた矢先、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいました。数ヶ月の活動自粛を経て、再開できた時の喜びは忘れないでしょう。



→運動会の打合せ風景・右端が鈴木久直氏



歴代会長名

初代：佐藤 賢助 氏
二代：鈴木 久直 氏
三代：今野 耕次 氏
四代：木下 清 氏
五代：菅原 周一 氏
六代：松戸 末治 氏
七代：志賀 重信 氏
八代：佐々木 信行 氏



平成十八年には体育館開館二十周年・温水プール開館十周年を記念して綱引き大会が行われ、その後、第十回まで続きました。震災後の第五回綱引き大会では、大関琴欧州と佐渡ヶ嶽部屋力士が登壇。塩釜の力自慢が集いしチームを、たった四人だけで軽々と引いてしまうほどの怪力さに、会場は大いに盛り上がりました。琴欧州関が味付けをしてくれた、ちゃんこ鍋のおいしさは忘れられません。また、パナソニックのラグビーチームやバレエボールチームも復興支援事業で来塩し、一緒に競技をしたり、ピザを焼いて食べたりと、落ち込んだ市民に活力を与えてくれました。



今年、七十五周年を迎え改めて振り返ると、偉大な先人たちの市民への献身とスポーツに対する情熱に心打たれました。これからの体協を担う私たちは、それな歴史を刻んでいくことが使命だと思ふのです。



今後もスポーツの片翼を担い続ける

塩釜ガス体育館開館 35 周年

塩竈市民待望の塩竈市体育館は、市民大運動会が開かれていた「上の原グラウンド」の跡地に建設されました。昭和61年11月にオープンした体育館は、モダンな作りと充実した設備を備え、スポーツだけでなくとどまらず、休憩所や会議室、トレーニング室も利用者のニーズに応えられるものとして完成。今まで出来なかった催しものが出る

とあって、どう活用していこうか嬉しい悩みがあったそうです。北側正面玄関には広場全体を塩釜湾になぞらえて、桂島や灯台が彫刻によって表現された「上の原の海」がお目見えしました。体育館のこけら落としで開催されたのは「NHKのど自慢」。当日は、5,500 人が訪れ、東北・北海道地方で行われたのど自慢の観客数の新記録となりました。平成2年には高校生のスポーツの祭典であるインターハイが宮城県で開かれ、塩竈市体育館ではバドミントン競技が行われることになり、選手・役員合わせて、約2600人が訪れました。平成19年2月には開館20周年の記念植

平成三年十一月二十三日には、市民芸能まつりが開かれました。第一部から第三部まであり、第一部・三部は市内町内会を代表する方が、踊りや唄など、日頃の成果を發揮する豪華発表会でした。

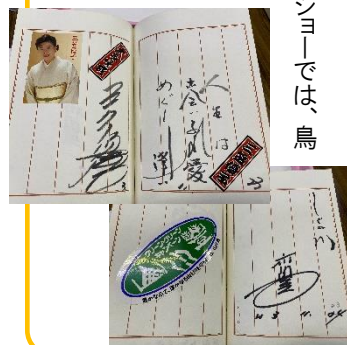
第二部の歌謡バラエティショーでは、鳥羽一郎さんの弟で、デビュー十年目の山川豊さんや約三年のロングヒット「夫婦舟」を歌う三笠優子さん等のステージで会場は大いに盛り上がったとのこと。



「見せましよう底力を」の言葉から苦節三年。平成二十五年十二月、日本一を引つけて東北楽天ゴールデンイーグルスの鉄平選手・永井投手・田中投手が一流アスリート誘致先導事業で来塩しました。スポーツ少年団や中学生たちはキャッチボールやホームラン競争で夢のようなひと時をプレゼントして頂きました。

樹と式典を開催。南側の花壇にある「さざんか」はその時植えられたものです。平成23年の東日本大震災では避難所となり、最後の避難者が仮設住宅へ入居できるまで機能しました。

喜びの顔あふれる成人式や祈りの追悼式など、開館してから市民の喜怒哀楽を見てきた体育館。これからも塩釜スポーツの片翼として皆さんの笑顔と健康を守ることでしょう。



泳ぎやすく透明度も高い自慢のプール

塩竈市温水プール開館 25 周年

塩竈にはその昔、貞山運河の側にプールがありました。昭和17年当時としてはたいへん珍しい、50mのメインプールとサブプール、そして高飛び込み台があるプールでした。昭和38年には月見ヶ丘に屋外25m公認プールが完成。学校対抗の水泳大会が開かれたり、市民の憩いの場として賑わいを見せたり、時にはヘビが泳いでいたとのエピソードもあるとか・・・。

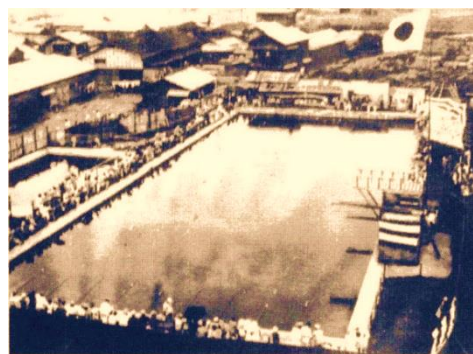
そして迎えた平成8年11月、ついに市民待望の屋内温水プールである塩釜勤労者総合スポーツ施設（現：塩竈市温水プール）が新浜町にオープンしたのです。水深1.2m～1.4mと近隣のプールの中では少し深めですが、その分、泳ぎやすいのが特徴です。また、プール水の透明度がとても高いことも自慢の一つとなっています。



→月見ヶ丘プール
開催された水泳大会

平成8年に勤労者総合スポーツ施設として開館されたプールは平成14年に現在の「塩竈市温水プール」となり、同時に愛称を公募しました。

25年経った現在、市民の皆さんに広く浸透している「ユープル」は、この時に生まれたのです。



←貞山運河の五〇mプール



夏に開催していた「じやぶじやぶまつり」では、屋外にフリーマーケットや出店が並び、プール内では尻相撲大会やアクアダイエットが行われ、和太鼓の演奏もあるなど、大好評のイベントでした。友達同士、家族同士、楽しいひと時の一幕です。

落成式ではシンクロナイズドスイミング（現：アーティスティックスイミング）の演技披露や親子三代リレーが行われ、たいへん盛り上がったそうです。

教室やサークル活動などで幅広い年齢層が利用し、リレーフェスティバルや水泳記録会といった毎年恒例の大会も生まれ、波に乗っていたプールも、平成23年3月11日の東日本大震災では大きな打撃を受けました。震災当日は車中泊も含めて500名強が避難され、その後、100名弱が共に生活をする場所となったのです。避難所として約2ヶ月を過ごし、暫定的に開館出来た平成23年6月「震災にも負けないプール」とニュースになるほどのスピード開館。その時のホッとした気持ちは忘れることはないでしょう。

それを機に、塩竈市温水プールは指定避難場所から指定避難所としての役目を担うことになり、備蓄倉庫が設置されることとなったのです。

市民の皆さんに愛され25年を迎えられた塩竈市温水プール。これからもたくさんの笑顔と健康を届けられる施設として続いていくことでしょう。

直に聞こえた 選手の苦しい息づかい

第41回
全日本実業団対抗
女子駅伝競走大会
クイーンズ駅伝 in 宮城

シード権獲得チーム

第一位	積水化学
第二位	資生堂
第三位	デンソー
第四位	J P 日本郵政グループ
第五位	ダイハツ
第六位	ヤマダホールディングス
第七位	ユニバーサル エンターテイメント
第八位	ワコール

スタートの合図で、選手はひとかたまりとなり松島を快走。途中、松島海岸駅付近で一人が転倒、トンネルを抜けた先でも二人が転倒するアクシデントに見舞われましたが、立ちあがり諦めずに走る姿は輝いていました。さて、塩釜市体育協会や

去る令和三年十一月二十八日、第四十一回全日本実業団対抗女子駅伝競走大会（通称「クイーンズ駅伝」）が今年も宮城県にやってきました。当日は風が少し冷たく感じられたものの、澄み渡る青空が選手たちをお出迎え。参加二十八チーム（昨年、第四十回の節目として増枠六で予定していたが、新型コロナウイルスの状況を考慮し今大会に持ち越された）がクイーンズの座を賭けて激突しました。スタート地点の松島町文化観光交流館前では、太鼓の演奏に合わせてチーム紹介があり、選手のモチベーションアップとなったことでしょう。

加盟単位協会は沿道整理員として参加。「沿道整理員は道路に背を向けるから」選手を直接見て応援することは出来なかったものの、走り去った後に小声で「がんばれー」と応援した「や「徒競走のような、とにかく凄いスピードだった」と感想を頂きました。また「コロナ禍とあって観客が少なかつたことで寂しく感じたところもあったが、スパートをかけてタスキリレーに挑む時の選手の苦しい息づかいが聞こえた」と、観客がいたら聞こえなかったであろう、選手の生の声が特に印象的だった

選手のスピードを検証

駅伝選手のスピードは、一体どのくらいなのか？沿道整理員で参加した当協会の方から、「凄いスピードだった」と感想があったので計算してみた。例えば第1区（7.6km）を第1位で駆け抜けた岡本選手（ヤマダホールディングス）のタイムは23分52秒。これを計算すると時速約19.38kmとなる。また花の3区（10.9km）を走った廣中選手のタイムは34分24秒なので、時速約19.12kmとなる。分かりやすく言うと50mを約10秒で走るという速さになる。よく、観客が沿道を一緒に走る姿が映し出される時がある。そして大抵、観客の方が遅い。50mを約10秒というスピードで長時間走ると思うと勝てる気がしない。「凄いスピード」ということが分かってもらえただろうか。



とも教えてくれました。前回号でピックアップした地元出身の木村梨七選手（積水化学）・清水萌選手（ワコール）は最終区間に登場！木村選手は区間二位の好タイムをマーク、清水選手も区間五位と大健闘しました。来年も是非、宮城での力走を見せて頂きたいです。

1位トーナメント

〈男子〉		
第1位	鈴木(将)・櫻井	(玉川中)
第2位	鶴・伊藤	(多賀城二中)
第3位	鈴木・小島原	(多賀城中)
	佐藤(佑)・松永	(玉川中)
〈女子〉		
第1位	村山・海老名	(多賀城二中)
第2位	本間・橋本	(東豊中)
第3位	伊藤・盛合	(塩一中)
	内海・津原	(東豊中)



テニスコートから交通安全を発信！
令和三年十一月六日（土）に第十八回東日本自動車学校杯ソフトテニス大会が宮城野原公園総合運動場テニスコートにて開催されました。開会式では塩釜二中の鈴木くん和小笠原さんが「私たちは交通ルールを守り悲惨な交通事故のない明るい安全な社会作りに貢献します」と高らかに交通安全宣言をし、また健闘を誓いました。塩釜市をはじめ多賀城市・七ヶ浜町・松島町の中学校ソフトテニス部の一・二年生を中心に、二二八名が参加したこの大会は、出来るだけたくさんの試合を経験していただきたいとの思いから、各リーグで試合した後、順位別のグループでも試合をしました。コロナ禍とあって検温やアルコール消毒、試合ごとのボールの消毒や手洗いを徹底し、マスク着用で拍手での応援など円滑な試合進行にご協力を頂きました。表彰式では大会で初めて賞状を手にした選手もあり、最後まで全力で戦った満足感で嬉しさいっぱいの笑顔が印象的でした。テニスコートから交通安全が発信され、事故のない安全な社会を実現し、友情を育みながら素晴らしい中学校生活の良い思い出になることを願います。



今年は市制施行八十周年、体育協会創立七十五周年、市体育館開館三十五周年、市温水プール開館二十五周年と、お祝いが重なる年となりました。今号では長い歴史を紐解くために、関係資料をたくさん読ませていただきました。一部です。これをきっかけに郷土の歴史に興味を持っていただけたら嬉しいです。

編集後記

編集・発行
特定非営利活動法人 塩釜市体育協会
塩釜市温水プール(ユープル)内
住所 〒985-0006
宮城県塩釜市字杉の入裏 39-173
電話 022-363-4501 FAX 022-366-0281
E-MAIL pool@npo-shiogama-taikyo.or.jp

塩釜市体育協会

検索

Twitterはこちら↓

塩釜ガス体育館 塩釜市温水プール



塩釜市体育協会
ホームページは
こちら→

